

独立行政法人
国立病院機構

National Hospital Organization

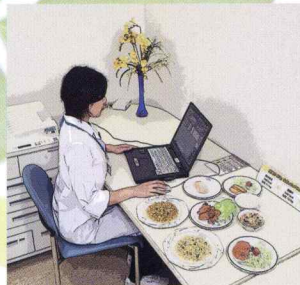
中国四国グループ

職員 募集

技術を磨く。夢を叶える。

あなたの笑顔をまっています。

- 薬剤師
- 診療放射線技師
- 臨床検査技師
- 管理栄養士
- 理学療法士
- 作業療法士
- 言語聴覚士
- 児童指導員
- 保育士



CONTENTS

- 国立病院機構が取り組む3つの事業03
- 職員の働きやすさを支援する制度.....04
- 薬剤師の業務05-06
- 診療放射線技師の業務07-08
- 臨床検査技師の業務09-10
- 管理栄養士の業務11-12
- リハビリテーションの業務13-14
- 療育の業務15-16
- 採用システム17
- 国立病院機構のネットワーク18

中国四国グループの病院紹介

鳥取県	鳥取医療センター19
	米子医療センター19
島根県	松江医療センター19
	浜田医療センター20
岡山県	岡山医療センター20
	南岡山医療センター20
広島県	呉医療センター21
	福山医療センター21
	広島西医療センター21
	東広島医療センター22
	賀茂精神医療センター22
山口県	関門医療センター22
	山口宇部医療センター23
	岩国医療センター23
	柳井医療センター23
徳島県	東徳島医療センター24
	徳島病院24
香川県	高松医療センター24
	四国こどもとおとなの医療センター25
愛媛県	四国がんセンター25
	愛媛医療センター25
高知県	高知病院26
その他	中国四国グループ26
	その他関連施設26



技術を磨く。夢を叶える。
 あなたの笑顔をまっています。



独立行政法人国立病院機構は、がん・循環器病・難病をはじめとする多様な疾患に対し、141病院からなる全国的なネットワークで取り組むとともに、地域のニーズにあった医療の提供を目指しています。そのうち、中国四国グループ内には22の病院があり、それぞれが役割を分担しています。中国四国グループ内の病院で、きっとあなたの生きがいが見つかると思います。また、国立病院機構の病院は全国にあることから、日本全国であなたの能力を発揮することができます。私たちの病院と一緒に働きませんか？病院も患者さんも、あなたの力を必要としています。





Project

国立病院機構は3つの事業に取り組みんでいます。

1 診療事業

《患者の目線に立った医療の提供》

- わかりやすい説明と相談しやすい環境づくり
- セカンドオピニオンの制度の充実
- 患者の価値観を尊重

《安心・安全な医療の提供》

- 医療倫理の確立
- 医療安全対策の充実

《質の高い医療の提供》

- クリティカルパス活用
- EBMの推進
- 長期療養者をはじめとする患者のQOLの向上等
- 職種間の協働・チーム医療の推進

《個別病院に期待される機能の発揮》

- 医療計画を踏まえ地域医療へ一層の推進
- 政策医療の適切な実施
- 重点施策の受け皿となるモデル事業の実施

2 臨床研究事業

《ネットワークを活用したEBM推進のためのエビデンスづくりの推進》

《治験の推進》

《高度・先端医療技術の臨床導入の推進》

《研究倫理の確立》

3 教育研修事業

《質の高い医療従事者の育成・確保》

*医療従事者研修を実施しています。

- 放射線安全管理研修
- EBMに関する研修
- 長期入院患者のADL向上に関する研修
- 急性期リハビリテーション研修
- 治験・臨床研究コーディネータースキルアップ研修
- 療養介助職の研修
- 院内感染対策研修
- 医療安全対策研修
- 治験研修
- クリティカルパス研修
- インフォームドコンセント研修
- 診療放射線技師研修
- チーム医療推進のための研修(NST・がん化学療法・輸血)

《地域医療に貢献する研修事業の実施》

総合的事項

《個別病院ごとの総合的な検証、改善等》

《エイズへの取組促進》

《調査研究・情報発信機能の強化》

国立病院機構の規模

病院数	141病院
病床数	約53,000床
職員数	約62,000人



Back Up

職員の働きやすさを支援しています。

院内保育所

中国四国グループ内21病院で院内保育所完備

育児休業制度等

●育児短時間休業

育児のため、小学校就学の始期に達するまでの期間、短時間勤務が可能(週19時間25分~24時間35分の範囲内)

●育児休業

3歳まで取得できます。
子が1歳に達する日まで育児休業給付金が支給されます。
(180日まで給料の2/3相当。残りの日数は給料の1/2相当)

●育児時間

小学校就学前の子を養育するために1日2時間を越えない範囲内での育児時間が認められます。(無給)

●保育時間

1歳未満の子の授乳などのため、1日2回それぞれ30分、保育のための休暇が認められます。(有給)

休暇制度

●結婚休暇

5日間の休暇が認められます。(有給)

●産前・産後休暇

産前に6週間、産後に8週間の休暇があります。(有給)

●生理休暇

年次休暇以外の病気休暇として認められます。(有給)

●看護休暇

小学校就学前の子の看護のために1年に5日間の休暇が認められます。(有給)

●その他休暇

年次休暇・リフレッシュ休暇があります。(有給)

介護休業制度

●介護休業

配偶者、父母、子などの介護のため、6ヶ月の期間内で必要と認められる期間、勤務が免除されます。給料の2/3相当の介護休業給付金が3ヶ月間支給されます。



薬剤師の業務

より安全で効果的な薬剤による治療を
私たちがしっかりと支えています。

業務内容について

病気の治療に欠かすことのできない「クスリ」。患者さんにとって最も安全で効果的な薬物療法をしっかりと支えるのが病院薬剤師です。国立病院機構の薬剤師は、医師・看護師・その他の医療スタッフとともにチーム医療の一員として、高度な医療を着実に支えるために、調剤・製剤、服薬説明、薬歴管理、注射薬調剤、医薬品情報管理、リスクマネジメント、医薬品供給・品質管理、薬物モニタリング、臨床研究、治験等に専門的に取り組んでいます。また、特定領域において他の医療職の期待に応えることのできる専門薬剤師の養成を目指し、学会・研修会等への参加をはじめ、院内感染対策チーム、がん化学療法チーム、緩和医療チーム、褥瘡対策チーム等への参加、クリティカルパス共同作成等においても実践的な役割を果たしています。国立病院機構は、わが国最大のネットワーク機能を有しており、国が策定した政策医療を効率的・効果的に実施できる体制が整っています。このネットワークを活用して、薬剤部門としては災害用医薬品、感染症治療・予防薬等の備蓄や情報公開、また、がん、循環器病、精神疾患といった政策分野ごとの医薬品安全情報の集積や地域との医療・健康に関する交流など幅広い分野での取り組みも進めています。日進月歩する医療の中で、薬剤師がチームの一員として患者様中心の医療に参画することが求められ、期待されています。そのためには、業務の拡大・展開に積極的に対応できるように準備を進めているところであり、国立病院機構においては、熱意のある優秀な人材を求めています。

勤務先について

中国四国グループ内の薬剤師の欠員状況に応じて採用されますので、採用となる病院は、当グループ内の22病院が対象となります。なお、採用後は国立ハンセン病療養所3施設も異動の対象となります。薬剤師として採用された後、主任薬剤師、副薬剤部(科)長、薬剤部(科)長と昇任する制度があります。また、厚生労働省(東京都)等への出向・人事交流も行われています。



*各種取得資格

資格名
日本病院薬剤師会 生涯研修認定薬剤師
日本病院薬剤師会 認定指導薬剤師
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師
日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師
日本病院薬剤師会 精神科薬物療法認定薬剤師
日本病院薬剤師会 HIV感染症薬物療法認定薬剤師
日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師
日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師
日本薬剤師研修センター 漢方薬・生薬認定薬剤師
日本薬剤師研修センター 小児薬物療法認定薬剤師
日本薬剤師会 日本生涯学習認定
日本医療薬学会 がん指導薬剤師
日本医療薬学会 がん専門薬剤師
日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師
日本臨床薬理学会 認定CRC
SOCRA 認定CRP
日本糖尿病療養指導士認定機構 日本糖尿病療養指導士
日本静脈経腸栄養学会 栄養サポートチーム(NST) 専門療法士
ICD制度協議会 ICD
日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師
日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師
日本禁煙学会 禁煙専門薬剤師
日本医療情報学会 医療情報技師
日本医療福祉検定協会 医療環境管理士
独立行政法人国立健康・栄養研究所 栄養情報担当者(NR)
日本アンチドーピング機構 スポーツファーマシスト
日本骨粗鬆症学会 骨粗鬆症マネージャー
日本腎臓病薬物療法学会 腎臓病薬物療法認定薬剤師
日本高血圧学会 高血圧・循環器病予防療養指導士

CRC: Clinical Research Coordinator
CRP: Clinical Research Professionals
SOCRA: The Society of Clinical Research Associates
ICD: Infection Control Doctor
NR: Nutritional Representative



先輩からのメッセージ



山口宇部医療センター
水口 敦子
(名城大学卒)

私は平成25年4月から山口宇部医療センターに異動し勤務しています。結婚後も国立病院機構で継続して勤務することを望んでいたため、勤務先を考慮していただきました。また、前勤務施設の呉医療センター・中国がんセンターが日本医療薬学会認定がん専門研修施設であり、がん専門薬剤師の認定要件には、研修施設での5年の勤務というのがあります。その辺りも考慮していただき、同じく研修施設の山口宇部医療センターで勤務し、がんの医療に従事することで、申請基準を満たすことができ、がん専門薬剤師を取得することができました。その後も、外来化学療法への介入等、がん専門薬剤師として活動しています。

また、妊娠、出産する機会があり、職場の先生方には多大なるご迷惑をおかけしました。妊娠中は重たい輸液など、声をかけなくても他の職員が運んで下さったり、体に負担がかからないよう、なるべく座ってできる仕事を優先していただいたり、産前を苦勞することなく終えることができました。休職中は新薬の情報を流して貰いある程度流れについていくことができました。復帰後は施設内に保育園がありましたので通勤に困ることはありませんでした。短時間で勤務ができる制度があり、子供が保育園に慣れるまで利用させていただきました。その他、子の看護休暇等の制度があり、子供が病気にかかって病院受診する際など現在も利用させていただいています。

職場の先生方にはまだまだご迷惑をおかけしてばかりですが、復職しても、ほぼ今までと同様に勤務できていることが私にとっての喜びです。医療現場では日々、勉強ですが、女性の私でも家庭と仕事を両立させることができる職場だと思います。



四国こどもとおとなの医療センター
佐野 良輔
(摂南大学卒)

私は、平成27年4月より四国こどもとおとなの医療センターで勤務しております。

大学生の頃、自分はどんな仕事をしたくてどんな職場に行けばいいのかが分からず、多くの病院や薬局の就職説明会に参加しました。いろいろな方のお話を聞く中で、自分がイメージしていた薬剤師の仕事以外にも知らない業務がたくさんあることを知り、いろいろなことに挑戦してみたいという気持ちが強くなりました。国立病院機構は中国四国内に22の病院を有しており、ここでならたくさんの方の病院を経験でき、幅広い知識を学んでいけると考え国立病院機構を選びました。

当院は病床数689、成人部門と成育部門からなり、香川県だけではなく広域の患者さんに幅広い医療を提供しています。就職後、当たり前ですが学生時代に学んだことだけでは全く歯が立たないという現実を突き付けられました。なかでも小児領域の薬物治療は、奥が深く、日々分からないことの連続でした。その度に先輩の薬剤師の先生方をはじめ、時には医師の先生などたくさんの方から教えていただき、少しずつですが分かるようになってきました。また、国立病院機構には研修なども多く、教育制度も充実しています。他施設との意見交換を行える場も多く、若手の研修合宿など医療スタッフの交流も盛んです。さらに、若手も積極的に学会に参加することができ、現場から学ぶことに加えて、より専門的で深い知識を得る機会もたくさんあります。ここでは処方せんをみるだけでは分からないことをたくさん勉強することができます。積極的に取り組み、学習することで、成長するチャンスがどこよりも多い職場であると実感しています。皆さんぜひ一緒に働きましょう。



米子医療センター
朝田 侑希
(京都薬科大学卒)

私は平成30年に米子医療センターに就職しました。

大学生の頃は臨床現場で働く自分の姿を具体的に想像することができず、「どんな薬剤師になりたいか?」という問いにさえも「まず薬剤師としてやっていけるのか?」と不安が先行して明確な答えを持っていませんでした。就職説明会に足を運び各職域の方とお話する中で、色々な現場を体験し学びたいと考え、国立病院機構を選びました。国立病院機構は中国四国グループ内に22の施設を有しており、がんや小児、救命救急と多岐にわたる医療を提供しています。またグループ内での人事交流も盛んなので、様々な規模、診療科の現場を経験することができ、幅広い知識を身につけていけるメリットを考えました。

当院は病床270床、25診療科からなる急性期病院です。グループ内でも小さい規模ですが、がんや腎疾患、血液・造血器疾患など専門性の高い医療を行っています。私は現在、調剤業務、抗がん剤調製、薬剤管理指導など様々な業務に携わる機会を与えられ、学生時代の知識だけでは太刀打ちできないことを日々実感しています。しかし、学生時代と異なるのは薬剤師の先生方や多職種の方が近くにいらっしゃるということです。特に先輩の先生方は色々な施設にて経験を積まれており、チーム医療への参画や当院では扱うことのない疾患についても豊富な知識をお持ちです。いつも声をかけてくださり、様々なことを学ばせて頂いています。自分だけで解決できない疑問や問題は多くありますが、たくさんの方々に教えて頂きながら少しずつ前に進めているのではないかと感じます。

皆さんも国立病院機構に入って、病院薬剤師として一緒に頑張っていきたいと思います!



浜田医療センター
下山 紗也加
(安田女子大学卒)

平成30年4月に浜田医療センターに就職し、調剤業務、抗がん剤、TPN無菌調製、薬剤管理指導や病棟薬剤業務など幅広い業務に取り組んでいます。私が、国立病院機構を志望した理由は中国四国グループ内の施設間で交流があることです。例えば、年に一度、中国四国地区薬学研究会という大きな研究会が開催され、他施設での取り組みや研究、症例報告を聞くことができます。自施設のみならず他施設の活動について知る機会があるのは大変恵まれていると思います。また、新人採用研修会では多職種とのグループワークを通じて意見交換を行うことができ、とてもいい経験になりました。

勤務地の浜田医療センターは島根県西部地区では唯一の救命救急センターを備えています。急性期総合病院として、がん、循環器疾患、呼吸器疾患など幅広く扱っているため多種多様な処方や症例に触れる機会があります。そのため、業務の中でも様々な臨床知識を得ることができます。また、チーム医療の推進によりがん、感染制御、緩和など多くの薬剤師が活躍しています。当院にも、専門薬剤師の資格を持った先生方が多数在籍されており、豊富な経験から適切なアドバイスをいただくこともあります。1年目の私にとっては大変心強く、日々勉強できていると感じています。日常業務では自身の勉強不足を痛感することも多々ありますが、先輩方からご指導いただき、様々なことを吸収しながら仕事に取り組んでいきたいと思っています。

診療放射線技師の業務

高度な医療技術の導入とその確実な実施に重点をおき、時代の要請に応じた人材を育成する。

業務内容について

診療放射線技師は、各病院において診断（撮影、CT、MRI、ANGIO等）、放射線治療、核医学検査の各業務に取り組むとともに放射線管理及び放射線関連の法的申請業務にも携わっています。また、日進月歩する医療の中で学会、研修会等への参加をはじめ、放射線業務に関連する国家資格、認定資格等を取得してスキルアップをはかり、診療放射線技師としての職能を発揮する努力をしています。

認定資格等について

各病院には以下のような国家資格また各種関連団体認定による専門技師資格取得者も多数在職しています。国立病院機構には様々な機能や特色をもった病院があることから各種研修を通して自身の技術・知識のスキルアップが可能となっています。放射線取扱主任者、作業環境測定士、放射線治療専門技師、放射線治療品質管理士、医学物理士、検診マンモグラフィ撮影認定技師、各種モダリティ別の専門資格認定（CT、MRI、核医学等）、医療情報技師、等々

勤務先について

中国四国グループ内の診療放射線技師の欠員状況に応じて採用されますので、採用となる病院は、当グループ内の22病院が対象となります。なお、採用後は国立ハンセン病療養所3施設も異動の対象となります。診療放射線技師として採用された後、主任診療放射線技師、副診療放射線技師長、診療放射線技師長と昇任する制度があり、昇任に際しては本人の希望等も考慮し病院を異動することとなります。

*各種取得資格

資格名	人数
第一種放射線取扱主任	20
作業環境測定士	20
衛生工学衛生管理者	22
放射線治療専門技師	20
放射線治療品質管理士	17
医学物理士	9
検診マンモグラフィ撮影認定技師	37
X線CT認定技師	21
磁気共鳴専門技術者	4
核医学専門技師	1
救急撮影認定技師	6
超音波検査士	5
PET研修セミナー修了者	56
医療情報技師	12

平成30年6月現在



先輩からのメッセージ



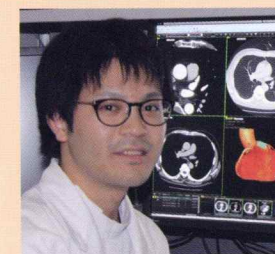
四国こどもとおとなの医療センター
岩本 笑佳
(徳島文理大学卒)

私は、国立病院機構中国四国グループの四国こどもとおとなの医療センターに勤務し2年目となります。現在、私は一般撮影、ポータブル撮影、CT、MRI、透視撮影、血管撮影などの様々な業務をローテーションで担当しています。当院は急性期の病院であるため救急患者の受け入れを行っており、当直業務に必要な知識や技術を日々勉強しています。また、人間ドックや検診で行うマンモグラフィ撮影を積極的にを行い、撮影技術の向上と資格取得に励んでいます。当科には転勤により、他の施設を経験された先輩や上司の方々がおられ、一つの考えに固執することのない柔軟な考え方で指導や助言をしてくださるため、診療放射線技師としても社会人としても大きく成長することができます。同年代の技師も多く、協力し助け合うことでチームワークのよい明るい雰囲気職場となっております。そして、国立病院機構内では学会や研修会が充実しており最先端の医療を学ぶことができると同時に、病院間での情報交換が活発なため幅広い知識を習得し自分のスキルアップにもつながります。様々な場所で多くの経験ができることは国立病院機構の特色でもあり、ここで得られたものは自分の財産になります。このような素晴らしい環境のもとで皆さんも国立病院機構と一緒に働いていませんか。



東広島医療センター
宮本 花
(広島国際大学卒)

私は国立病院機構内の東広島医療センターに勤務し2年目になります。現在は一般撮影、CT、MRI、血管造影などを担当しており、幅広い業務に携わっています。国立病院機構には学び続けることのできる環境があります。グループ内や院内外での勉強会が多数あり、常に知識を高め、技術を磨いていくことができます。私が国立病院機構に入ってから一番良かったと思う事は、様々なモダリティを経験できる点です。多くのモダリティを経験することで、興味のある分野を見つけることができ、技師としての可能性が広がります。また、撮影技術のみならず、医療人としての必要な知識も多く身につけることができます。機構内には同じ大学の先輩や年の近い先輩方が何人もいます。困ったときには相談に乗ってもらったり、社会人としての一般常識を教えて頂いたり業務以外でも学ばせてもらうことが多くあります。まだまだ知識も足らず、勉強不足ではありますが、頼もしい上司や優しい先輩方のおかげで今は毎日楽しく仕事できています。そしてこれからも多くの経験を積み、幅広い知識を身につけ、この国立病院機構に必要な人材になりたいと思っています。新社会人の方、すでに就業されていて転職を考えている方、私たち国立病院機構と一緒に働きませんか。きっと実りのある人生が待っているとします。



愛媛医療センター
吉村 勇輝
(大阪物療大学卒)

私は、平成27年度に大学を卒業し国立病院機構中国四国グループに採用され、愛媛医療センターに赴任し4年目になります。私は鳥取県出身で、はじめての赴任先が愛媛県に決まった時は驚きました。愛媛県は今まで一度も訪れたことのない土地で最初は不安でしたが、そこで働き生活を行うことで徐々に慣れていきました。また、愛媛県には日本最古と言われている道後温泉、西日本最高峰の石鎚山など観光スポットもたくさんあります。転勤して違った土地に住むことで多くの観光スポットに訪れることができるのも転勤族の魅力だと思います。愛媛医療センターでは一般撮影、CT、MRI、RI、IVR、X-TVなどがあり、各モダリティを日替わりで担当し業務を行っており、幅広く業務に携わっています。診療放射線技師6名で業務を行っており、人数が少ない分チームワークを大切に日々業務を行っています。先輩方は優しく職場の雰囲気は明るく、とても良い環境で働いています。また、勉強会を週に一度行い放射線科の先生から指導を頂き読書の勉強をしています。勉強会を通し診断に必要な知識が身に付き自分自身の能力向上につながり、日々成長を実感しています。国立病院機構中国四国グループは、全体で22施設の病院があり各病院で機能や特色が異なり転勤を行うことで様々な経験を積むことができます。また、国立病院機構は、民間の病院と比べると組織が大きく学会や研修も大規模なものが多く施設の診療放射線技師と情報交換を行い知識や経験を積めるところが魅力だと思います。また、国立病院機構の診療放射線技師は複数の施設で働いている方がほとんどで経験が豊富で信頼できる先輩が多いと思います。皆さんも国立病院機構の一員として共に働きましょう。



岩国医療センター
一ノ瀬 拓実
(岡山大学卒)

私は平成30年度に国立病院機構中国四国グループへ採用され、岩国医療センターへ配属されました。一年目の現在は一般撮影・CT・MRI・血管撮影を日替わりでまわり、様々なモダリティの経験を積んでいる最中です。最初はできることが少なく戸惑いも多く、落ち着いて仕事をするために知識・スキル・対応力を身につけるために勉強の日々です。しかし幸いにも院内の勉強会、研修会などを通じて、経験豊富な先輩方から多くのことを教わることができました。岩国医療センターは救急救命センターを備えており、昼夜を問わずいろいろな症例の方がやって来ます。そのため業務も多岐にわたりますが、この11月より当直業務も行っています。早いうちから様々なモダリティや症例に触れることができるので、技師としての経験値は非常に早く得られます。国立病院機構では大規模な病院ネットワークを生かして、様々な研修会、学会などが開催されており、最新の情報を吸収してスキルアップすることができます。また誰かが得た知識は放射線科内でしっかりと共有されるのですべてのモダリティや薬品について幅広い知識を持つことができます。また、知識のインプットだけでなくアウトプットする場も多く設けられており、一年目から発表する機会を与えられ、研究から発表までの一連の流れを若いうちから体験できるのは非常に恵まれている環境です。放射線科の雰囲気は良く、仕事と趣味をしっかりと切り替えられる人が多く、仕事の時は仕事、遊ぶ時は遊ぶというように切り分けられることができるので働きやすい環境です。みなさんも国立病院機構の一員として恵まれた環境と一緒に働いてみませんか。

臨床検査技師の業務

社会に出るとスキルアップできる場所として、日本臨床衛生検査技師会・各種関連学会がありますが当機構ではその他に中国四国グループ主催および国立病院臨床検査技師協会主催の研修会や学会があり、その中で多くの仲間とともにスキルアップしていくことができます。

業務内容について

臨床検査技師は医師の診断や治療に必要な検査データを24時間体制で提供します。正確なデータを担保するための精度管理や技術力の向上のための学会参加や発表、論文さらには独自の研修会開催など国立病院機構全体で皆さんをサポートします。

入職後は担当業務を覚えながら並行して出来るだけ早く当番業務がこなせるよう緊急検査の習得も必要となってきますが、国立病院機構では新採用者を対象とした研修で接客や社会人としての基本マナー講義に併せて特に注意が必要な検査業務についての研修を行います。

担当業務としては検体検査(生化学・免疫・血液・一般)、輸血検査、細菌検査、病理検査、生理検査などがありますが、その他に採血業務やチーム医療としてのICT・NST・糖尿病チーム・医療安全など臨床検査技師が関わる分野が増えてきています。ある分野で着実に力を蓄え資格を取得した後にまた新たな分野にも挑戦しやすい環境が保たれています。また国立病院機構の特色として転勤制度があります。院内だけでなく他の機構内病院でも自分の力を試すことや資格取得が可能です。

また国立病院機構はわが国最大のネットワーク機能を有し、国が策定した政策医療を担っています。地域との医療・健康に関する連携への取り組みも進めています。日進月歩する医療の中で臨床検査業務は新たな展開を迎えており、複雑・高度化した医療を担っていくためにも、国立病院機構においては、熱意のある優秀な人材を求めています。

認定資格等について

各病院には、以下のような認定資格等を有する臨床検査技師が多数勤務しています。国立病院機構には様々な機能や特色を持った病院があることから、各種研修を通して自身の技術・知識のスキルアップが可能となっています。

*細胞検査士、超音波検査士、認定輸血検査技師、認定血液検査技師、認定臨床微生物検査技師、認定心電図検査技師、緊急検査士、糖尿病療法指導士等々

勤務先について

採用となる病院は中国四国グループ内の病院22病院が対象となります。なお、採用後は国立ハンセン療養所3施設も異動の対象となります。臨床検査技師として採用された後は能力に応じて主任臨床検査技師、副臨床検査技師長、臨床検査技師長と昇任する制度があります。

なお、昇任に際しては本人の希望等も考慮し病院を異動することとなります。



*各種取得資格

資格名
緊急臨床検査士
二級臨床病理技術士
超音波検査士
細胞検査士
認定一般検査技師
認定血液検査技師
認定輸血検査技師
認定微生物検査技師
NST臨床検査技師
糖尿病療養指導士
睡眠医療認定技師
サイトメトリー技術者



先輩からのメッセージ



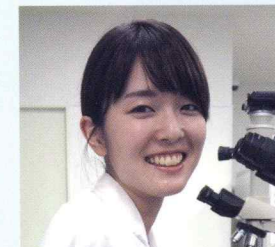
呉医療センター・中国がんセンター
田中 友梨
(神戸学院大学卒)

私は平成29年4月より呉医療センター・中国がんセンターで勤務し、生理検査や微生物検査、当直業務に携わってきました。様々な検査を経験することで幅広い知識を身に付けることができている。初めて経験する検査に対しては不安もありますが、確かな技術と多くの知識を持つ先輩方が丁寧で分かりやすい指導をして下さっています。他職種の方々と交流する機会もあるため解らないことは気軽に相談でき、日々充実して働くことができている。

先輩方の中には専門の資格取得者や、学会発表、論文投稿を経験している方も多数おられ、私自身の目標設定やレベルアップへの筋道となっています。私も何度か挑戦する機会がありましたが、その際には先輩方がアドバイスを下さるので安心して取り組むことができました。やり終えた後は、知識が増えたことにより仕事への遣り甲斐や自信に繋がっていることを実感しています。国立病院機構では研修制度が充実しており、積極的に参加することで自身のスキルアップや、機構内の他施設の仲間と交流や情報交換もでき勉強になっています。

検査を行うには幅広い知識と経験が必要であり、様々な方向から検査結果を考察し、正確かつ迅速に、適切な対応が必要であると感じています。患者さんと接する機会も多々あります。私は、患者さんのことを考え検査を行い、チーム医療の一員として信頼してもらえる臨床検査技師になりたいと思っています。

国立病院機構には様々な機能や特色を持った病院があり、複数の病院で多くの経験を積むことができます。このように充実した環境の整っている国立病院機構で、ぜひ私たちと一緒に働きましょう。



東広島医療センター
糸谷 祥子
(広島国際大学卒)

私は国立病院機構中国四国グループの東広島医療センターに配属され、今年で2年になります。まだまだ知識も経験もあさく、失敗することも多々ありますが、先輩からの指導やアドバイスに支えられて日々業務に取り組んでいます。

現在、一般検査を中心に業務を行っています。学生時代はあまり好きではなかった尿沈渣も、さまざまな症例を経験することで、おもしろいと感じるようになりました。そして、2年目からは血液検査についても勉強をはじめ、少しずつですが、末梢血や骨髓の塗抹標本も観察できるようになってきました。今年はさらに、緊急検査士の資格をとることを目標にしています。

また、中四国グループにはさまざまな研修会や実習プログラムがあります。1年目では輸血研修会に参加し、輸血の基礎知識から実践的な手技まで幅広く教えていただきました。さらに、2年目では技能実習に参加させていただきました。技能実習とは、他施設で3日間にわたり研修するプログラムであり、私は血液検査を教わるために岡山医療センターでお世話になりました。貴重な白血球の症例を見せていただいたり、自施設では行っていないフローサイトメトリー検査を体験させていただいたり、非常に貴重な経験ができたと思います。研修後のレポートはとても大変でしたが、研修で身に付けた知識を再度勉強しなおすことで、なおいっそう知識を深めることができました。

このように、国立病院機構はステップアップのための研修制度がとても充実しており、自身の成長のために最適な環境だと思っています。みなさんも中四国グループに入って、ぜひ一緒に勉強してみませんか。



岩国医療センター
原田 実季子
(川崎医療短期大学卒)

岩国医療センターに就職してから2年が経ちました。当院は、山口県東部地域の高度急性期医療を担う地域の中核病院であり、多くの診療科を持つ総合病院です。私は、生理検査に配属され、心電図や、超音波検査など患者さんと直接触れ合う業務をさせていただいています。はじめは、患者さんとうまくコミュニケーションがとれるか、不慣れな思いをさせていないかと不安や戸惑いを感じていましたが、患者さんから「ありがとう」「また、お願いね。」などの言葉をいただけたときにやりがいを感じています。

国立病院機構では、スキルアップのためのさまざまな研修制度があります。昨年は、岡山医療センターでの超音波検査の研修会に参加させていただき、超音波検査の資格を取得した方の体験談や、他施設でのエコー像の描出の仕方、各分野の検査データの考え方などの講義があり、知識と意欲向上につながりました。このような同じ中国四国グループ内の施設同士で勉強会や研修会をする機会が多くあるので、色々な施設と情報交換しながら知識を深めることも、魅力の一つです。

国立病院機構は施設によって、専門性や機能が異なるため、いろいろな施設を経験してみたい、広い視野を持ちたいという方にピッタリだと思います。また、資格取得のための、研修制度や自身のスキルアップのための環境は整っているため、やる気次第で充実した日々が送れると思います。私自身まだまだ未熟ではありますが、これからも患者さんの目線に立った検査が提供できるよう心がけて努力していきたいと思っています。みなさんも私たちと一緒に国立病院機構で働いてみませんか？



愛媛医療センター
真鍋 亜由美
(山陽女子短期大学卒)

私は現在、愛媛医療センターに勤務し微生物検査を担当しています。業務内容は患者様から提出された検体を培養して感染の原因菌を調べたり、その菌がどのような薬剤に効果があるかを検査しています。また愛媛医療センターは結核治療の拠点病院であるため、抗酸菌検査にも力を入れており、迅速診断ができるPCR法を用いた遺伝子検査や結核菌の薬剤感受性検査なども行っています。

微生物検査に配属が決まったときは数日かけて菌を観察し菌を同定していく検査に戸惑いがありましたが、今では周りの方々に助けをいただきながらとても充実した日々を過ごしています。とても責任のある仕事ですが、グラム染色像を見て推定した菌名と同定結果が一致したときはとても嬉しです。また、ICT(Infection Control Team)の一員として検査情報を発信しながら他職種と協力し院内感染対策にも努めています。

国立病院機構では研修会などに参加する機会が多くあり、他病院の先輩方から専門的な知識や技術を教えていただき、自分自身のスキルアップにもつながっています。

愛媛県内には2つの機構病院がありますが、周りには山々や温泉施設がたくさんありとても過ごしやすい環境です。是非国立病院機構の一員として一緒に頑張らしましょう。

管理栄養士の業務

栄養状態の改善に向けて、あらゆる努力(食の改善、栄養知識、チーム医療、実行力)が求められています。

今、病院栄養士(管理栄養士)には多くのことが求められています。栄養状態の管理は「医療の基本」です。栄養状態の悪化は、免疫が障害され、創傷治癒も遅れます。逆に栄養過剰は、生活習慣病を引き起こす原因となります。多くの診療部は管理栄養士をチーム医療の一員として、積極的な参加を求めています。

栄養士の仕事は大きく3つに分けられます。

1. 献立や食事提供に関する給食業務

患者満足のためには重要な業務です。適正な衛生管理による安全な食事、症状に合わせた食事、食事サービス向上の重要な業務となります。

2. 患者個人の栄養状態把握と管理を行う臨床栄養業務

患者個々の栄養状態を管理するための重要な業務です。栄養管理計画書による栄養評価、また、チーム医療の一員として、NST(栄養サポートチーム)、褥瘡管理チーム、感染防御チームなど管理栄養士の積極的な参加が求められています。

3. 栄養食事指導

生活習慣病の予防、栄養状態改善の対策、摂食・嚥下障害の食事方法など、病状に合わせた具体的な食事プランニングが求められています。

チーム医療(栄養サポートチーム: NST)

栄養状態の管理は「医療の基本」です。栄養状態の悪化は、免疫が障害され、創傷治癒も遅れます。不適切な栄養管理は予後を増悪することもあります。栄養管理の確立は感染症や褥瘡の減少、患者さまの早期退院・社会復帰を可能にし、病院には在院日数の減少や医療費の削減をもたらします。そのためには、医師、薬剤師、看護師、栄養士、臨床検査技師などの多職種が集まって、患者さまのためになる栄養療法をあらゆる方面から考え提案する必要があります。それが栄養サポートチームの役割です。

採用後の教育研修

採用後の各種資格は国立病院機構で働けば自動的に取得できるものではありません。各自が各種認定学会に入り、自己研鑽して取得していきます。国立病院機構はさまざまな疾病を扱っておりますので、職場により資格取得できる条件は整っています。先輩栄養士は、糖尿病療養指導士・病態栄養専門師・NST専門療法士・健康運動指導士、心臓リハビリテーション指導士など多くの資格を取得しています。研修は国立病院機構主催のチーム医療推進のための研修(NST)、コメディカル合同新人研修会、インフォームド・コンセント研修会、感染防御研修会など多くの研修会があります。また、国立病院機構独自では国立病院総合医学会や国立病院栄養研究学会が開催されています。その他、各種学会に各自任意で参加し、多くの学会で先輩方は発表しています。

* 資格取得状況

資格名	人数
NST専門療法士	32
日本糖尿病療養指導士	15
病態栄養専門(認定)管理栄養士	12
がん病態栄養専門管理栄養士	9
がん専門管理栄養士研修指導師	1
糖尿病病態栄養専門管理栄養士	1
TNT-D認定管理栄養士	3
NSTコーディネーター	2
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士	2
健康運動指導士	4
心臓リハビリテーション指導士	1
栄養経営士	1

令和2年1月現在



NSTミーティング



糖尿病教室



栄養指導

先輩からのメッセージ



浜田医療センター
大月 智加
(川崎医療福祉大学卒)

私は大学卒業後クリニックで勤務をしていました。しかしさらに深く臨床について学びたいという思いから国立病院機構に就職を決めました。

私の職場である浜田医療センターは急性期総合病院として医療を行っています。また、回復期リハビリ病棟・地域包括ケア病棟・緩和ケア病棟があり、地域のニーズを把握したサービスの提供を行っています。他にも健診センターを併設しており栄養士として様々なことを学び、挑戦できる場所だと感じています。

浜田医療センターでは給食管理は全面委託しているため、現在私が行っている栄養士業務は主に患者さんの栄養管理です。嚥下機能の低下した方や、治療の副作用により食事をしづらくなっている方に介入し、食べるためのお手伝いをしています。食事を食べられなかった患者さんが元気になる姿に栄養士としてのやりがいを感じています。

またNST回診、褥瘡回診などに参加し他職種と連携することで新しい知識や気づきを得ることができています。国立病院機構は学会や研修会に参加する機会に恵まれ、多くの知識と刺激を得られるとても良い環境だと感じています。目標を持ち、栄養士としてのスキルアップを目指していける環境だと思います。



岡山医療センター
石塚 天馬
(山口県立大学卒)

私は大学卒業後に現在勤めている岡山医療センターに配属となりました。当院は地域との結びつきを大切に、高度かつ幅広い医療を提供する急性期総合病院です。私の主な仕事は献立作成と栄養指導ですが、他にも特別メニューの考案や病院行事の準備、委員会活動など幅広く経験をさせていただいております。また、抗がん剤治療等で食事が進まない患者さんやアレルギー対応が必要な患者さんに対する個人対応にも力を入れており、患者さんの言葉をしっかりと受け止め適切な対応ができるように心がけています。

そんな私が日々勤務を通して感じることは「伝える力」の大切さです。栄養や病態の知識を得るのは勉強で何とかなります。しかし、それを献立や提案内容に落とし込み、患者さんや他職種の方に分かりやすく伝えることが求められるため、頭でっかちなだけでは職務が果たせないことを痛感しました。今後も様々な経験を重ね、「伝える力」をどんどん磨いていきたいと思っています。当機構ではスキルアップを目的とした人事異動を通して各施設の機能や特色の違いを経験し、幅広い知識を修得することができます。また、研修会等を通してグループ内および全国の管理栄養士との交流が多く、そのたびに刺激を得ることもできます。

病院で働く管理栄養士として様々な経験を積むことができる国立病院機構で皆さんとお仕事ができることを楽しみにしております!



呉医療センター
砂田 沙羅
(広島女学院大学卒)

私は大学卒業後、現在の呉医療センターに配属され3年目になります。当院は37診療科、700床からなる地域がん診療連携拠点病院、3次救命救急センター、地域周産期母子センター、災害拠点病院などの機能を有する高度急性期医療機関です。

現在私は給食業務に加え、患者さんの栄養管理、入院・外来栄養指導、チーム医療への参加など臨床業務を中心にしています。特に栄養指導では患者さんが持っている疾患が多様多様であり、難しいと感じることも多いですが、血液検査の数値が良くなった時にはやりがいを感じられます。その中で大切にしていることは、自分自身も患者さんと同じことをやってみることです。例えば外食に出かければ食品表示を注意して見る、介護食品はどのようなものが売っているのかお店に行ってみる、増粘剤を使つとろみ水を作ってみるなど栄養指導の内容を自分自身でやってみるようになっています。自ら体験することで患者さんへより実践的な食事指導ができるよう心掛けています。

国立病院機構では研修会がたくさんあり、最新の知識の取得だけでなく、他施設の栄養士と意見交換やアドバイスを頂くこともでき、自分自身のスキルアップができる場所だと思います。管理栄養士としての力を発揮できる国立病院機構で仕事をしてみませんか。



高知病院
小野 舞流
(高知県立大学卒)

私は、国立病院機構中国四国グループに採用後、高知病院へ配属され今年で3年目になります。まだまだ足りない点も多く、自分自身の力不足を痛感することはありますが、先輩方にご指導いただきながら日々の業務に取り組んでいます。

国立病院機構は中国四国グループ内に22病院と国立ハンセン療養所3施設があります。私は、急性期から慢性期、重症心身障害児(者)や難病等、規模も特色も異なる病院での勤務を通じて様々な疾患を経験し、患者さん一人一人に寄り添いながら幅広い分野で活躍することができる病院管理栄養士を目指したいと思志望しました。

高知病院は、424病床、26の診療科からなる地域密着型の病院です。給食管理業務を委託しているため、管理栄養士が積極的に病棟へ向かい、患者さんと直接関わる機会を設けやすい環境となっています。栄養指導や食事対応を行う中で、患者さんから「栄養士さんのおかげ」「食べやすくなった」などと声をかけていただけることも増え、やりがいを感じると共に自分自身のモチベーションにも繋がっています。また、当院には重症心身障害児(者)病棟があります。患者さんそれぞれに合わせたより良い栄養管理を行えるよう、多職種と協力しながら日々介入しています。長い療養生活の中でも「食」を楽しんでもらうため、行事食や手作りおやつ等の提供等も行っていきます。

国立病院機構は学会や研修会等が充実しており、入職して間もない時期から積極的に参加することができます。また、他施設で働く先輩や同期とも情報交換が行えるだけでなく、スキルアップの機会も数多くあり、とても充実した環境で働くことができます。みなさんも中国四国グループと一緒に働いてみませんか?

リハビリテーションの業務

《理学療法士・作業療法士・言語聴覚士》

病期・病状に最も適したサービスを提供、
障害を持つすべての人のQOL向上をめざします。

国立病院機構のリハビリテーション部門は、心大血管・脳血管疾患等・運動器・呼吸器・がんのリハビリに加え神経筋疾患・筋ジストロフィー・重症心身障害・精神疾患等広範な疾患を対象としています。患者さまおひとりおひとりの病期・病状に最も適したサービスを提供できるよう理学療法士、作業療法士さらに言語聴覚士がチームとなって治療に臨んでいます。そして障害を持つすべての人のQOL向上をめざし、努力を重ねています。また、急性期から慢性期、新生児から老人までと多種多様な患者さまに最適なリハビリテーションサービスを提供するために、各病院の日常業務から得られた知識や技術を国立病院機構のネットワークを活用して共有することにも力を入れています。

採用後の教育研修

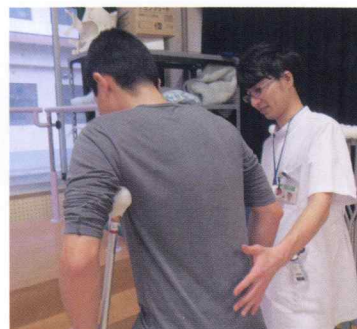
国立病院機構本部や各グループが主催する研修が独自のものとなります。実際にはこれらの研修に加えて職能団体である日本理学療法士協会や日本作業療法士協会さらに各研究会の研修に参加する必要があると思いますが、積極的に参加できるよう環境を整えています。医療は日々進んでおり、また卒前教育で習得した知識や技術だけでは不十分なことも多く、絶え間ない努力が求められます。国立病院機構には多くの先輩がお日々の業務の中でもアドバイスや指導を受ける機会があるでしょう。いっしょに頑張ってくださいましょう！

募集職種

理学療法士 作業療法士 言語聴覚士

業務内容

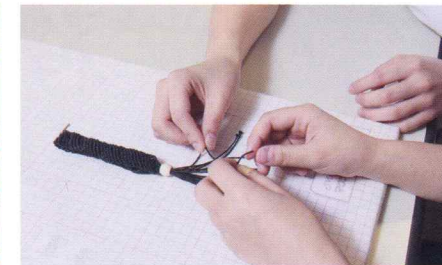
心大血管・脳血管疾患・運動器・呼吸器・がん
神経筋疾患・筋ジストロフィー・重症心身障害・精神疾患等のリハビリテーション



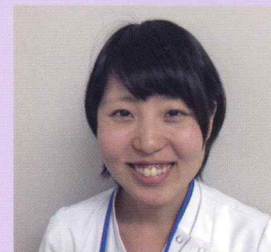
*各種取得資格

資格名	人数
日本心臓リハビリテーション学会認定指導士	11
3学会合同呼吸療法認定士	70
精神保健福祉士	3
日本糖尿病療養指導士	4
がんのリハビリテーション研修受講者	59

平成27年9月現在



先輩からのメッセージ



岡山医療センター
理学療法士
岡田 真理香
(県立広島大学卒)

私は学生時代に実習を通してたくさんの患者様と関わる中で、臨床で理学療法を行うためには広範な知識と経験が不可欠だと感じました。リハビリの対象となる疾患は多岐にわたり、時には複数の合併症や既往を併せ持つ患者様もおられます。また、患者様ひとりひとりの生活背景によって、求められるものは異なります。そのため就職活動を行うにあたり、様々な領域に携わることのできる国立病院機構に魅力を感じました。中国四国グループには急性期から生活期、対象は整形外科疾患や脳血管疾患から難病や重症心身障害児・者と、多種多様な特色を持った病院があります。そしてグループ内での研修会が充実しているため、それぞれの職場で得た知識や経験を共有することができます。実際に私も研修会に参加する機会を頂きました。その中の一つに疾患別の症例検討をグループワークで行うものがありました。グループのメンバーは異なる病院に所属する理学療法士、作業療法士で構成されており、急性期のリスク管理から退院後を見据えた支援など、症例を様々な視点で捉えた意見交換ができました。こうした研修会はグループ内だけでなく全国規模でも定期的に開催されており、希望をすれば積極的に参加することができます。

私の目標は物事を多角的に捉え、個々のニーズに応えられる理学療法士になることです。皆さんは将来どのようなセラピストになりたいですか？国立病院機構の大きなネットワークを活かせば、その目標に向かってスキルアップすることができます。まだ具体的な目標がない人も、幅広い経験を積むことで見えてくるものがあると思います。皆さんと共に働けることを楽しみにしています。



高知病院
作業療法士
公文 啓人
(高知リハビリテーション学院卒)

国立病院機構に入職して3年が経過しました。それまでは脳血管疾患を中心に携わる病院に勤務しており、脳卒中を呈した患者様の回復期～訪問までのリハビリテーションを経験してきました。非常にやりがいのある職場ではありましたが、そんな中、私が国立病院機構に就職しようと思ったきっかけは、一つの分野に精通するのではなく幅広い分野で様々な疾患を経験し、より知識や技術を深め、万能な作業療法士を目指したいという思いがあったからです。その点で国立病院機構は中国・四国グループ内での転勤が可能であり、それぞれの現場で新たな分野に応じて広範なスキルを積むことができます。さらに急性期から生活期、新生児から高齢者と幅広く経験できる環境が整っています。

実際、当院でも呼吸器疾患をはじめ、運動器疾患、がん疾患、小児発達疾患とこれまで経験したことのない分野が主であり、当初は今まで触れることがなかった疾患に戸惑うこともありましたが、職場の上司をはじめ、経験あるスタッフからの温かい指導も受けながら、今では楽しく臨床に望むことができています。当院では特に呼吸器疾患を担当する機会が多いため、入職した年には先輩方からのアドバイスもあり呼吸療法認定士の資格を取得しました。発表や必要な資格を取得するためのサポート体制も整っており、さらに外部の勉強会だけではなく、病院機構内での研修会や学会へ積極的に参加することも魅力の一つだと思います。

自分自身、入職以前と比べて知識や考え方の幅が拡大し、目指すべき作業療法士像に近づいていると実感しています。環境が人を形成するともいわれます。成長するために、皆さんも一緒に働いてみませんか？



岩国医療センター
言語聴覚士
岡本 直道
(朝日医療大学校卒)

国立病院機構に入職し、1年が経ちます。私の場合、「多種多様な病院がある機構に入れば、多くの患者様と接することができる、STとして提供するリハビリテーションの幅が広がるのではないかと考えたのが入職のきっかけでした。結果、これまで脳神経・血管疾患を中心に、口腔・咽頭がん術後や認知症など、様々な疾患について学ぶ機会を得て、医療従事者としても人間としても成長させて頂いている、と感じています。

入職当初は、「様々な経験をしたい」という気持ちと同時に、「ちゃんと仕事ができるのだろうか」という不安もありました。私が配属された岩国医療センターでは、主に成人・急性期の患者様を担当しており、リスク管理や迅速な対応、病棟とのこまめな連携など求められるものが多く、時に悩むこともあります。しかしその都度、リハビリテーション科の先輩・同僚、時には科外の他職種の方から指導やサポートを頂き、日々起こる問題や不安を乗り越えて来られました。また、中国四国グループや病院主催の勉強会、栄養チームによる院内巡回などに参加することで、他職種との連携を強め、ST領域以外の知識を吸収することも出来ました。今後も、こうした勉強会や院内活動に積極的に参加し、そこで得たものを患者様のために役立させていきたいです。

療育の業務

《児童指導員・保育士》

「社会福祉学」・「心理学」・「教育学」・「保育学」を
基盤とした療育・保育支援により、患者さんの健全育成及び、
QOLの向上と福祉の増進に努めます。

業務内容について

児童指導員は、国立病院機構が担っている政策医療19分野のうち「重症心身障害」「神経・筋疾患」及び「成育医療」の充実にあたり、重症心身障害、進行性筋萎縮症及び神経難病、小児慢性疾患等の患者さんとご家族への支援を行っています。中国四国グループには、22の国立病院機構の病院があり、現在そのうち12病院（重症心身障害、進行性筋萎縮症及び神経難病病棟を併設する病院）において業務を行っています。そうした医療を必要とする重症心身障害児（者）等への生活指導を行っており、療育活動（療育計画と実践、行事の企画・実施等）を通して健全育成・福祉の増進等を図っています。また、心理・教育・福祉の各分野から専門的な支援活動に取り組んでおり、チーム医療において療育支援部門のスペシャリストとして、入院患者さんのQOLの向上を目指しています。

保育士は、国立病院機構が担っている政策医療19分野のうち「重症心身障害」「神経・筋疾患」及び「成育医療」の充実にあたり、重症心身障害、進行性筋萎縮症及び小児慢性疾患等の患者さんとご家族へ保育を通じて支援を行っています。中国四国グループには、22の国立病院機構の病院があり、現在そのうち15病院（重症心身障害、進行性筋萎縮症及び神経難病病棟、小児病棟を併設する病院）において業務を行っています。そうした医療を必要とする重症心身障害児（者）等への生活指導を行っており、療育活動（療育計画と実践、行事の企画・実施等）を通して健全育成・福祉の増進等を図っています。

児童指導員の勤務先について

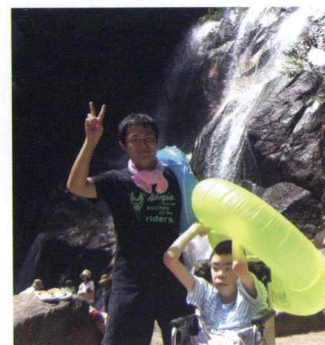
中国四国グループ内の児童指導員の欠員状況に応じて採用されますので、採用となる病院は、当グループ内の12病院（重症心身障害、進行性筋萎縮症、小児慢性疾患病棟を併設する病院）が対象となります。児童指導員として採用された後、勤務成績により主任児童指導員、療育指導室長と昇任する制度があり、昇任に際しては本人の希望等も考慮し病院を異動することとなります。

保育士の勤務先について

中国四国グループ内の保育士の欠員状況に応じて採用されますので、採用となる病院は、当グループ内の15病院（重症心身障害、進行性筋萎縮症、小児病棟を併設する病院）が対象となります。保育士として採用された後、勤務成績により主任保育士へと昇任する制度があり昇任に際しては本人の希望等も考慮し病院を異動することとなります。

*各種取得資格

資格名
児童発達支援管理責任者
社会福祉士
臨床心理士
医療保育専門士



先輩からのメッセージ



広島西医療センター
児童指導員
上田 祐希菜
(県立広島大学卒)

児童指導員として採用していただき3年目となりました。入職当時は、「初めまして」のこぼれ声で戸惑うこともありましたが、優しい先輩方にご指導いただきながら、まずは利用者の方と触れ合い、その方々を知るところから始まりました。なかなか関係を築くことができなかった方と触れ合いお話をできた時には、どうしようもなく嬉しかったことを今でも鮮明に覚えています。

私の勤務している広島西医療センターには、重症心身障害児（者）病棟が3病棟と神経・筋・難病病棟が3病棟あります。私は今、重症心身障害児（者）病棟を担当させていただいています。児童指導員は、利用者の方やそのご家族はもちろん、関係職種や多機関と関わる機会も多くあります。関係職種や多機関と連携を図りながら、多方面から利用者の方やそのご家族を支援していくことのできる体制に大変やりがいを感じています。

また、利用者の方の年齢層は幅広く、ひとりひとり個性があるため、活動や行事において、その個性を發揮してもらえような、一緒に楽しんでもらえるような内容を提供できているか日々考えています。時には先輩方に相談に乗っていただきながら、利用者の方と関わっています。

私たちの業務に終着点はないと思っています。3年間、利用者の方と関わらせていただいているのですが、利用者の方の表情の変化や反応には日々新たな発見があります。利用者の方と同じ時間を過ごすなかで感じる楽しさや喜びをぜひ、これから児童指導員を目指しておられる皆様と一緒に共有したいです。



山口宇部医療センター
児童指導員
猪野 沙綾
(広島文教女子大学卒)

私は現在、重症心身障害児（者）の方と関わる仕事をしています。児童指導員として療育活動の実施や他職種への連絡・調整、四季の行事や外出行事の企画・運営等を行っています。生活支援として個別の関わりを行い、思いに沿えるよう支援を行っています。私は入職して2年目ですが、利用者の方と日々関わっていく中でたくさんの気づきや勉強をする機会があります。初めは、関係を築いていくことができるか不安でいっぱいでしたが、先輩の児童指導員や保育士と一緒に関わること打ち解けることができました。時には思いを汲み取ることができず、もどかしさを感じることもありますが、時間をかけて話をする中で、思いに沿った支援ができたときには嬉しさや、やり甲斐を感じます。また、利用者の方の家族から受けた相談への対応や要望を他職種に共有していく繋ぎ役を担い、利用者の方やその家族と関係するスタッフを結びつけられるようにしています。他にも、各自治体や児童相談所、相談支援事業所等の外部機関との相談、情報共有等のマネジメント業務も行っています。

私の思う児童指導員の魅力は2つあります。1つ目は、他職種で話し合い、連携してより良い支援が行えることです。実際に行った支援で利用者の方の表情や行動に変化があった時には喜びも大きいです。2つ目は、利用者の方やその家族、病院内外の様々な職種と関わることで、色々な知識や経験が積めることです。日々、色々な人と関わる中で、難しさを感じることもありますが、先輩児童指導員に助言をもらいながら業務を行っています。色々な業務に携わる機会があり、先輩児童指導員の指導のおかげで毎日充実した日々を送っています。



松江医療センター
保育士
大島 麻貴
(川崎医療短期大学卒)

私は子どもの頃から保育士になりたいと思っており、母の言葉「人生は長い短いじゃない、最後に楽しかったと思える、その人らしい人生が送れたらいいよ」をきっかけに、病棟保育士を目指すようになりました。大学で病児保育や発達障害について学び、将来は小児病棟、障害児者と関わる仕事に就きたいと考えようになり、国立病院機構の採用試験を受け平成28年4月に松江医療センターの保育士として採用していただきました。

現在は重症心身障害児・者、筋ジストロフィーの混合病棟で療育や日々の生活支援を行っています。年齢層の広い患者さんと関わる中で、声をかけると手足を動かしたり、目を動かしたり、声を出したりと自分なりの返事を一生懸命に表してくれる姿を見られること、笑顔が見られること、新たな一面を見つけることができたとき、とてもうれしく感じます。また、年間を通して院外行事や四季折々の院内行事もあり、企画・運営を担当することがあります。他職種、職員同士での連携を図ること、患者さんと一緒に行事を作り上げていくことの大変さ、苦労もありますが、いつもとは違った患者さんの表情や、ご家族の方と楽しんでいただいている姿を見ると、今までの苦労が吹き飛ばすくらいにとても嬉しく感じ、仕事のやりがいを感じます。

保育士として患者さんの笑顔が見られることが一番の喜びだと感じています。業務の中で患者さんの笑顔、温かみで素直な心に触れられたとき、言葉に表せない程自分自身温かな気持ちになります。そして患者さんからたくさんのパワーと元気、癒しをもらっています。

これからも一人ひとりの関わりを大切に、生命の尊さを感じながら、その人らしい生活が送られるように寄り添い日々頑張っていこうと思います。



四国こどもとおとなの医療センター
保育士
林 香菜美
(鳥根県立大学短期大学部卒)

私は、重症心身障害児（者）病棟の強度行動障害の方と日々関わり、働いています。主な業務は、入所されている利用者さんへの生活支援や日中活動の充実を図るために療育活動の実施、家族支援などを行っています。療育活動では、散歩に出かけたり、部屋を暗くして光とアロマの香りを楽しむスヌーズレン活動やその他造形、視覚、音楽活動を行ったり、季節に合ったイベントを計画実施しています。

私が国立病院機構の保育士を目指したきっかけは、学生時代に行った施設実習です。それまでは、重症心身障害の方と関わる機会がなく、実習初日はとても緊張したのを覚えています。利用者さんも私に緊張されていたのが日数を重ねていくと、緊張もなくなり利用者さんからスキンシップをとってくださることも増えました。言葉でコミュニケーションをとることが難しいため、利用者さんの思いを汲み取ることがなかなかできませんでしたが、言葉だけでなく目や手の動き、表情で反応を示していただき、利用者さんそれぞれのコミュニケーション方法があることを知りました。利用者さんが一生懸命伝えようとしてくださっている思いを理解できたり、私の言葉かけに反応を見せてくださったりした時はとても嬉しかったです。そして、利用者さんの楽しいと感じる瞬間に寄り添いたい、利用者さんが楽しいと感じるきっかけを作りたいと思いついた瞬間に保育士を目指しました。今では、利用者さんとの関わりがとても楽しく、毎日元気をもらっています。

保育士の仕事は、利用者さんに寄り添い楽しい時間を共有することのできる素敵な仕事です。今後も、持ち前の明るさを活かし利用者さんと一緒に楽しく働いていきたいと思います。

採用システム

国立病院機構中国四国グループでは、中国四国9県22病院で勤務するコメディカル職員の採用について、各職種ごとに採用候補者登録選考を実施しています。

採用候補者登録選考とは、すぐに採用を決定する選考試験ではありません。各職種の欠員状況等が生じ、補充の必要がある場合に、その都度採用試験を実施するのではなく、あらかじめ選考試験を実施したうえで採用適格者を決定し『採用候補者名簿』に登載するための選考です。

その後、各病院の欠員状況等が決定次第、名簿登載者の上位の方から採用内定を通知することにより採用が決定されることになります。

採用スケジュール

Step1 応募書類の送付 ※職種によって試験内容が異なります。

『願書』に必要事項を記入し、その他提出書類を併せて中国四国グループ人事担当人事係あて郵送してください。詳細については、募集要項をご覧ください。(中国四国グループホームページからもダウンロード可能) <http://saiyou-nho.jp>

Step2 一次選考(書類選考等)

選考の期間は、応募書類受付終了後2~3週間程度で選考の結果を书面(一次選考合格者に対しては、二次選考の日程等をお知らせします。)にて通知します。応募者多数の場合には、通知までに若干時間が長くなることもありますので、あらかじめご了承ください。

Step3 二次選考(面接及び小論文等)

一次選考合格者の方は、二次選考に進みます。選考の結果は書面にて通知します。

Step4 採用候補者名簿への登録

この時点では、採用を約束するものではありません。また、他の就職活動を拘束するものでもありません。

Step5 採用内定!

書面にて通知します。

Step6 採用先病院を連絡

Step7 採用

募集職種

●薬剤師 ●診療放射線技師 ●臨床検査技師 ●管理栄養士 ●理学療法士 ●作業療法士 ●言語聴覚士 ●児童指導員 ●保育士

《上記以外の職種は、各病院で採用試験を実施いたしますので、各病院へ直接お問い合わせください》

その他で中国四国グループ22病院で活躍している主な職種



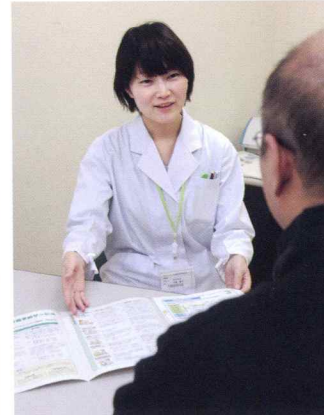
●臨床工学技士



●歯科衛生士



●心理療法士

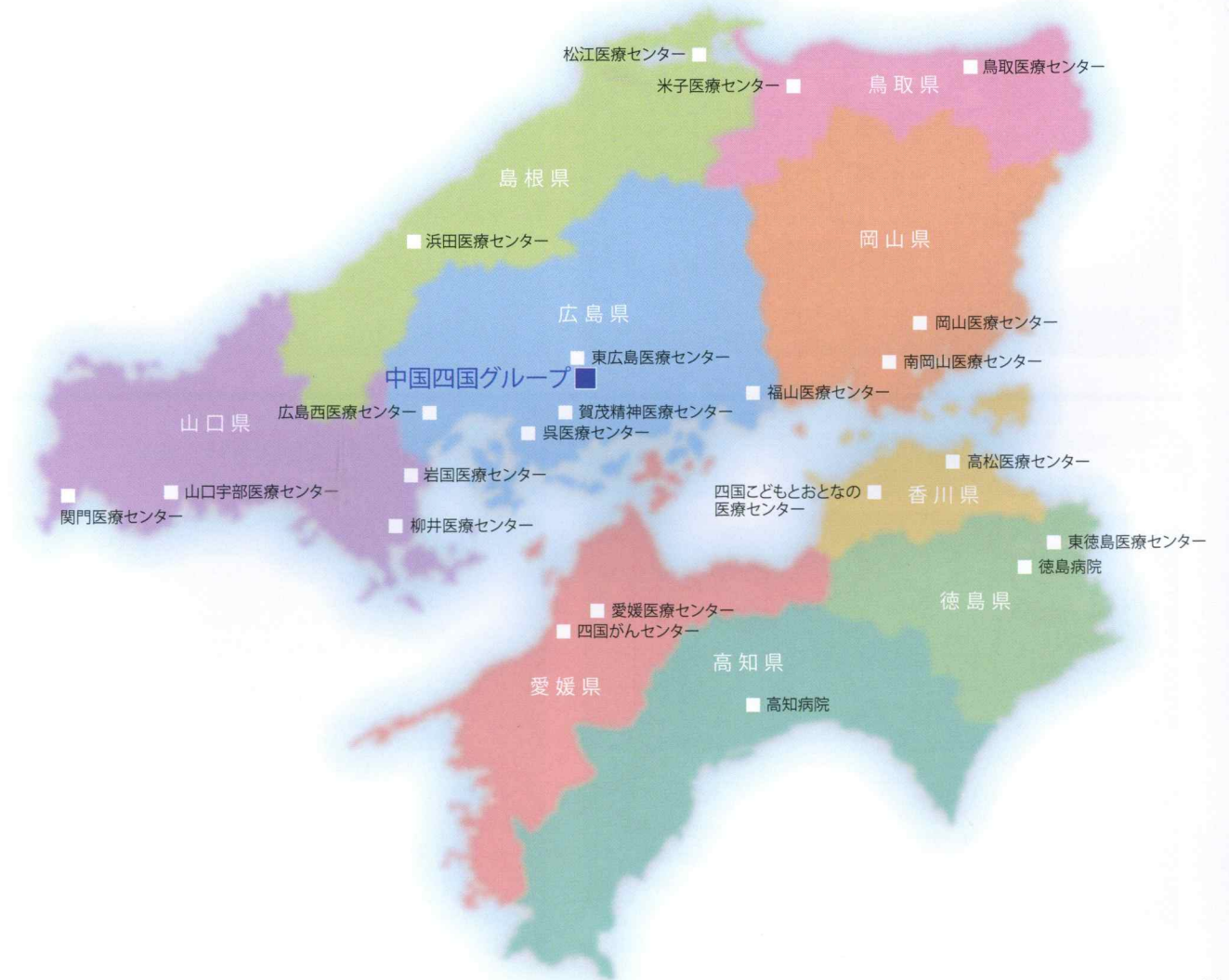
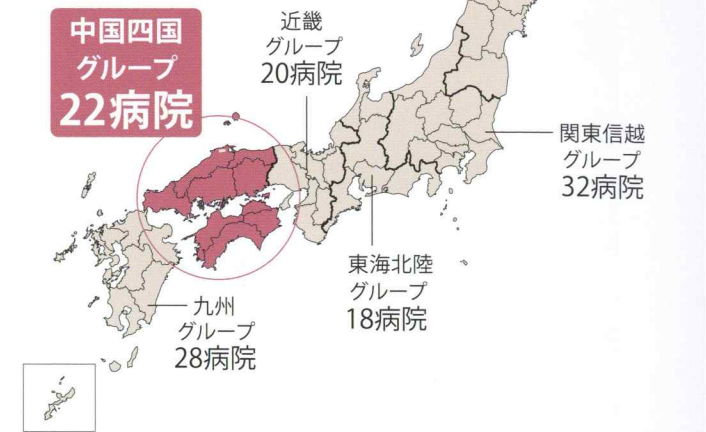


●医療社会事業専門員

Network

国立病院機構は 全国141病院の 我が国最大の 病院ネットワークを 持っています。

中国四国グループの22病院は、それぞれの政策医療を担当するとともに、医療サービスの質の向上をめざして日々励んでいます。



鳥取県 鳥取医療センター



住所 | 〒689-0203 鳥取県鳥取市三津876
 電話番号 | 0857-59-1111
 ホームページ | <https://tottori.hosp.go.jp/>
 アクセス | ○JR山陰本線「鳥取大学駅」から徒歩30分、「末恒駅」から徒歩20分
 ○JR山陰本線「鳥取駅」からバス(吉岡温泉行、鹿野行、青谷行等)にて「鳥取医療センター」下車(約30分)
 病床数 | 総数517床(一般144床、重症160床、精神213床)
 診療科 | 内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、小児科、外科、整形外科、リハビリテーション科、放射線科、歯科
 機能類型 | ●神経難病及び脳卒中リハビリ医療等の専門的医療●重症心身障害児(者)の専門的医療●結核及び呼吸器疾患の医療●精神科疾患に関する高度で専門的医療●医療観察法の基づく専門的医療
 病院の特色 | 慢性期の医療・看護の中でも神経難病、重症心身障がい医療、精神疾患(医療観察法含む)医療、結核、回復期リハビリテーション、認知症治療等を行っています。重度の障害や慢性疾患の患者さんを急性期医療から連携し、継続療養・在宅生活への支援を行い、できるだけ地域での生活ができるように、専門的医療に取り組んでいます。

鳥取県 米子医療センター



住所 | 〒683-0006 鳥取県米子市車尾4-17-1
 電話番号 | 0859-33-7111
 ホームページ | <https://yonago-mc.hosp.go.jp/>
 アクセス | ○JR山陰本線「米子駅」からバス(福万行)にて「米子医療センター(正面)」下車
 病床数 | 総数270床(一般270床)
 診療科 | 内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、心療内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、血液腫瘍内科、循環器内科、小児科、消化器外科、整形外科、胸部・乳腺外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科・口腔外科、麻酔科、緩和ケア内科、腎臓内科、肝臓内科
 機能類型 | がん包括医療、腎疾患包括医療の実践 制作医療ネットワーク(長寿医療・呼吸器疾患・肝疾患) 西部医療圏における小児・成人の二次救急医療 エイズ拠点病院
 病院の特色 | 地域に根差した病院として、がん(地域がん診療連携拠点病院)、腎疾患(鳥取県唯一の献腎移植施設)、血液・造血疾患(骨髄移植、臍帯血移植・骨髄採取)などの専門性の高い治療を実施しています。一般救急からがん相談支援まで、初期診断からターミナル期までのケアを行っています。緩和ケア病床20床も加えて充実した環境で取り組んでいます。

鳥取県 松江医療センター



住所 | 〒690-8556 鳥取県松江市上乃木5-8-31
 電話番号 | 0852-21-6131
 ホームページ | <https://matsue.hosp.go.jp/>
 アクセス | ○JR山陰本線「松江駅」からバス(大庭・八雲行、大庭かんべの里行、県合同庁舎行、平成町車庫行)にて「松江医療センター前」下車(約10分)
 ○山陰自動車道「松江中央IC」から車で約8分
 ○山陰自動車道松江 中央出口より車で約8分
 病床数 | 総数340床(一般148床、結核12床、重症90床、筋ジストロフィー) 90床
 診療科 | 内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、アレルギー科、小児科、外科、整形外科、呼吸器外科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科
 機能類型 | 診療機能は、一般医療のほか、特に肺がん、肺気腫、肺感染症、結核、呼吸器不全、睡眠時無呼吸症候群などの呼吸器疾患、神経難病・筋ジストロフィーなどの医療とリハビリテーション、重症心身障害医療・発達障害などの小児神経疾患です。呼吸器疾患については、地域における「呼吸器病センター」としてすべての呼吸器疾患の診療に当たっています。
 病院の特色 | 呼吸器疾患、神経・筋疾患、重症心身障害に特化した専門性の高い医療を提供している自然豊かな環境の病院です。呼吸器病センターとして山陰地方の呼吸器医療のリーダー的役割を果たしています。神経難病医療では山陰の拠点病院として、重症心身障害医療ではポストNICUとして多職種が協力して専門性を発揮し、質の高い医療を提供しています。

島根県 浜田医療センター



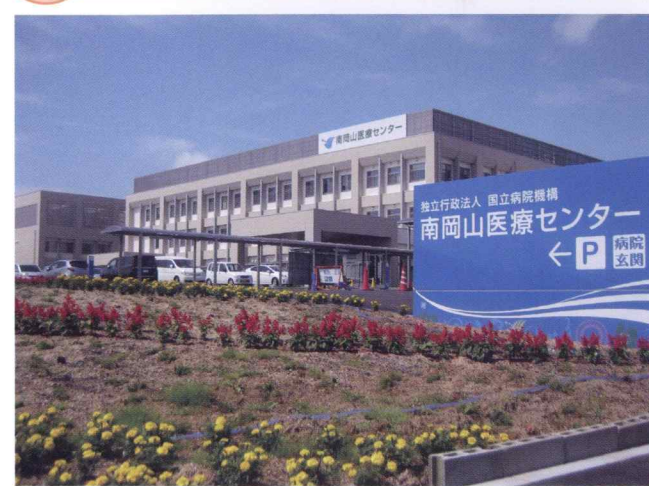
住所 | 〒697-8511 島根県浜田市浅井町777-12
 電話番号 | 0855-25-0505
 ホームページ | <https://hamada.hosp.go.jp/>
 アクセス | ○JR山陰本線「浜田駅」に隣接
 病床数 | 総数365床(一般361床、感染4床)
 診療科 | 内科、内分泌・代謝内科、血液・腫瘍内科、糖尿病内科、腎臓内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科
 機能類型 | 救命救急センター、緩和ケア病棟、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、臨床研修指定病院、へき地医療拠点病院、健診センター、エイズ拠点病院、臨床研究部、電子カルテ、高圧酸素治療室、附属看護学校
 病院の特色 | 「医療を通じて"地域で生きる"を支援する」の理念のもと、島根県西部の医療の中核を担う総合医療センターとして、3次救急、がん疾患、循環器疾患、周産期医療を提供し地域医療に貢献しています。地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟では、地域と密接に連携し患者さんが安心して過ごせるように、在宅医療・介護へのスムーズな受け渡しを行っています。

岡山県 岡山医療センター



住所 | 〒701-1192 岡山県岡山市北区田益1711-1
 電話番号 | 086-294-9911
 ホームページ | <https://okayama.hosp.go.jp/>
 アクセス | ○JR山陽本線「岡山駅」からバス(国立病院行)にて「国立病院」下車(約30分)
 ○山陽道「岡山IC」から車で約3分
 病床数 | 総数609床(一般609床)
 診療科 | 内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんごう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科、病理診断科、緩和ケア内科、感染症内科、救急科
 機能類型 | 保険医療機関、地域医療支援病院、がん診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センター、臨床研修指定病院、外国医師臨床研修指定病院、エイズ治療拠点病院、特定疾患治療研究事業指定医療機関、小児慢性特定疾患治療研究事業指定医療機関、指定養育医療機関、DPC対象病院
 病院の特色 | 「今、あなたに、信頼される病院」の理念のもと、質の高い医療の提供を目指し、高度で先駆的な急性期医療を提供しています。1991年に「BFH」の称号をいただき、総合周産期母子医療センターとして岡山県南東部の中核的役割を果たしています。市立金川病院の運営管理に携わることで在宅復帰支援を行い、患者さんの多様なニーズに対応しています。

岡山県 南岡山医療センター



住所 | 〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島4066
 電話番号 | 086-482-1121
 ホームページ | <https://minamiokayama.hosp.go.jp/>
 アクセス | ○JR瀬戸大橋線「早島駅」又はJR山陽本線「中庄駅」からタクシーで約10分、両駅から無料送迎バス随時運行
 ○瀬戸中央自動車道「早島IC」から約2km
 病床数 | 総数400床(一般255床、結核25床、重症120床)
 診療科 | 内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、小児神経科、アレルギー科、整形外科、皮膚科、耳鼻いんごう科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、歯科
 機能類型 | 呼吸器疾患(結核、呼吸器疾患、肺癌等)、免疫異常(アレルギー・リウマチ等)、神経・筋疾患、重症心身障害児・者、血液疾患(白血病等)、エイズ、長寿・医療(老年病・糖尿病等)、小児慢性疾患、リハビリテーション 国立病院・療養所の再編成計画の見直し(平成11年3月)に基づく機能類型は「神経・筋疾患」及び「免疫異常」の基幹医療施設に、「呼吸器疾患」及び「重症」の専門医療施設に、また結核及びエイズについては県の拠点施設として位置づけられました。
 病院の特色 | 岡山市と倉敷市の中間の高台に位置し、患者さんの心を癒す一助になる風景が自慢です。中国地方の「神経・筋疾患」「免疫異常」に関する中心施設、「呼吸器疾患」「重症心身障害児(者)」に関する専門医療施設、結核・アレルギーに関する岡山県の拠点病院として、専門的な医療に誇りを持っています。また、それを支える一般医療も充実しています。

広島県 呉医療センター



住所	〒737-0023 広島県呉市青山町3-1
電話番号	0823-22-3111
ホームページ	https://kure.hosp.go.jp/
アクセス	○JR呉線「呉駅」からバス(中央棧橋市役所循環及び坪の内経由鍋棧橋行)にて「国立病院前」下車 ○JR呉線「呉駅」前(呉阪急ホテル前)から無料シャトルバス ○JR呉線「呉駅」から徒歩約15分、タクシー5分
病床数	総数700床(一般650床、精神50床)
診療科	内科、内分泌・糖尿病内科、腎臓内科、血液内科、腫瘍内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、移植外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産科、婦人科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線腫瘍科、緩和ケア科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科、救急科、リウマチ・膠原病科、麻酔科
機能類型	●地域医療支援病院 ●地域がん診療連携拠点病院 ●基幹医療施設(がん) ●第3次救命救急センター ●母子医療センター ●防災拠点国立病院 ●専門医療施設(循環器、精神、成育、肝、内分泌・代謝) ●臓器提供施設 ●高度総合医療施設 ●エイズ治療拠点病院 ●地域医療研修センター
病院の特色	第3次救命救急センター、母子医療センター、緩和ケア病棟等を有する37診療科、700床の高度総合医療施設です。災害派遣医療チーム、国際医療フォーラムなどの活動を通じ、地域医療に貢献しています。「相手の心情に寄り添う愛のある医療を実践します」を理念とし、質の高い医療を目標に、最新の医療設備を整え専門性の高い治療を実施しています。

広島県 福山医療センター



住所	〒720-8520 広島県福山市中野上町4-14-17
電話番号	084-922-0001
ホームページ	https://fukuyama.hosp.go.jp/
アクセス	○JR山陽本線「福山駅」からバスにて約10分
病床数	総数350床(一般350床)
診療科	内科、糖尿病・内分泌内科、肝臓内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、新生児科、消化管外科、肝胆膵外科、肛門外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、小児科・小児泌尿器科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科
機能類型	国立病院機構の一員として政策医療を中心に診療を行っています。(「がん診療」「成育医療」「骨・運動器疾患」を柱として「循環器疾患」「肝臓疾患」に対応しています。)また、地域医療支援病院として、二次救急、産科3次救急、新生児救急を担い、急性期病院として地域医療施設と連携しています。その連携にはクリティカルバスを使用しています。地域周産期母子医療センターとして、GCU 9床(H23.4~12床)、NICU 9床を設置しており、地域の産科救急と新生児医療を一手に引き受けています。
病院の特色	「がん、成育医療、骨・運動器」を中心として、地域医療に貢献しています。中でも成育部門は広島県東部の小児救急拠点病院・地域周産期母子医療センターとして、2019年11月よりMFICUが稼働しています。また、地域の2次救急を担い、広島県からエイズ治療中核拠点病院として選定されています。さらに、外国人患者受け入れ医療機関として国際支援部が中心となり活動しています。

広島県 広島西医療センター



住所	〒739-0696 広島県大竹市玖波4-1-1
電話番号	0827-57-7151
ホームページ	https://hiroshimanishi.hosp.go.jp/
アクセス	○JR山陽本線「玖波駅」下車より徒歩7分 ○山陽自動車道「大竹IC」から約1km
病床数	総数440床(一般200床、重症120床、筋ジストロフィー)
診療科	内科、精神科、脳神経内科、血液内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、肝臓内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
機能類型	●病院群輪番制指定病院 ●開放型病院 ●救急告知病院 ●臨床研修指定病院(基幹型) ●難病医療拠点病院 ●児童福祉法指定福祉施設 ●へき地医療拠点病院 ●身体障害者福祉指定医療機関
病院の特色	広島西医療センターは、急性期医療と慢性期医療(筋ジストロフィー・神経筋難病/重症心身障害児(者))の両方を兼ね備え、広島県西部二次医療圏における中核施設として地域完結型の医療を行っています。病院の理念である「患者さんと共に」を基軸に置き、患者さんにとって最善の医療・看護を提供しています。

広島県 東広島医療センター



住所	〒739-0041 広島県東広島市西条町寺家513
電話番号	082-423-2176
ホームページ	https://higashihiroshima.hosp.go.jp/
アクセス	○JR山陽本線「西条駅」よりバスにて約15分、「寺家駅」よりバスにて約6分 ○山陽自動車道「西条IC」から約7km、「志和IC」から約9km
病床数	総数401床(一般381床、感染4床、結核16床)
診療科	内分泌・糖尿病内科、精神科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科、病理診断科
機能類型	●臨床研修指定病院 ●地域がん診療連携拠点病院 ●日本医療機能評価機構認定病院 ●地域医療支援病院 ●広島県災害協力病院 ●第2次救命指定医療機関 ●日本がん治療認定医療機関 ●研究施設等、詳しくは当院ホームページをご覧ください。
病院の特色	学園文化都市の東広島市にある、広島中央医療圏の急性期・中核病院として、がん・循環器・呼吸器・内分泌/代謝疾患・周産期母子医療等の高度先進医療を行い、地域の二次救命救急医療を担っています。命の尊厳と人間愛に根ざした誠実で親切な、患者さん中心の医療を目指して日々努力しています。

広島県 賀茂精神医療センター



住所	〒739-2693 広島県東広島市黒瀬町南方92
電話番号	0823-82-3000
ホームページ	https://kamo.hosp.go.jp/
アクセス	○JR山陽本線「西条駅」からバス(呉方面行)にて「賀茂医療センター」下車 ○JR山陽新幹線「東広島駅」からタクシー10分
病床数	総数412床(重心100床、精神312床)
診療科	精神科、心療内科、内科、リハビリテーション部門(精神)、歯科
機能類型	●臨床研修指定病院 ●精神科作業療法施設 ●精神科デイケア施設 ●広島県精神科救急医療システム事業における精神科救急 ●広島市精神科救急医療システム事業における精神科救急 ●医療観察法指定入院医療機関
病院の特色	「共に生きる」社会の実現を目指すを基本理念に中国四国地区の精神科専門医療・医療観察法指定入院医療機関として中核的な役割を果たしています。精神科急性期から社会復帰まで多職種チームで患者支援を行っています。また、重症心身障害児(者)「動く重心:強度行動障害」の看護、療育を通して一人ひとりの個性に合わせた生活を支援しています。

山口県 関門医療センター



住所	〒752-8510 山口県下関市長府外浦町1-1
電話番号	083-241-1199
ホームページ	https://kanmon.hosp.go.jp/
アクセス	○JR山陽本線「新下関駅」又は「下関駅」からタクシー20分 ○JR山陽本線「下関駅」からバス(員光線)にて「市立美術館前」又は「関門医療センター」下車
病床数	総数400床(一般400床)
診療科	内科(総合診療)、糖尿病・血液内科、神経内科、消化器内科、呼吸器内科、肝臓内科、循環器内科、腫瘍内科、女性内科(女性総合診療)、精神科、小児科、外科、形成外科、乳腺外科、呼吸器外科、消化器外科、内視鏡外科、心臓血管外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、臨床検査科、病理診断科、救急科(ER24)、歯科口腔外科、麻酔科
機能類型	●がん ●循環器 ●成育医療 ●長寿医療の専門医療施設 ●救命救急センター ●総合リハビリテーション
病院の特色	山口県西部に位置し、関門海峡を挟んで北九州も医療圏として「がん、循環器、成育医療」を中心に専門的な医療を実施しています。また、地域に必要なとされる医療を目指し救命救急センターを運営しています。「先駆け」「地域」「教育」をキーワードに、何事にも主体的にチャレンジする人材を育成し、自分がやりたいことをサポートする体制を整えています。

山口県 山口宇部医療センター



住所 | 〒755-0241 山口県宇部市東岐波685
 電話番号 | 0836-58-2300
 ホームページ | <https://yamaguchiube.hosp.go.jp/>
 アクセス | ○JR宇部線「岐波駅」より徒歩20分
 病床数 | 総数365床(一般215床、結核30床、重心120床)
 診療科 | 内科、精神科、腫瘍内科、神経内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科、麻酔科
 機能類型 | ●がん診療・・・肺がんをはじめとする胸部の悪性腫瘍に対する診断、外科治療、化学療法、放射線治療、緩和医療●呼吸器疾患の専門的診療・・・結核を含むすべての呼吸器疾患、特に重症患者の診療●重症心身障害児(者)の診療・療育・・・超重症児の受け入れ、ポストNICUとしての役割
 病院の特色 | 当院は山口県唯一の呼吸器専門病院で、肺がんをはじめとする、がん、緩和ケア、呼吸器疾患(特に重症呼吸器疾患)の診療を行っています。また、重症心身障害児(者)の専門施設として、超重症児を受け入れるポスト-NICUの役割も担っています。「患者の権利を尊重し、最新の医学知識に基づく医療の提供」を理念として地域社会に貢献しています。

山口県 岩国医療センター



住所 | 〒740-8510 山口県岩国市愛宕町1-1-1
 電話番号 | 0827-34-1000
 ホームページ | <https://iwakuni.hosp.go.jp/>
 アクセス | ○JR山陽本線「岩国駅」からタクシーで15分、「南岩国駅」からタクシーで5分
 ○JR山陽本線「岩国駅」からバス(梅が丘循環線等)にて「岩国医療センター」下車(約20分)
 病床数 | 総数530床(一般530床)
 診療科 | 内科、消化器内科、肝臓内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科、血液内科、精神科、小児科、小児循環器科、外科、消化器外科、乳腺外科、胸部外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、救急科、放射線科、麻酔科、病理診断科
 機能類型 | ●第3次救命救急センター●地域がん診療連携拠点病院●地域医療支援病院●地域周産期母子医療センター●DPC対象病院●地域医療研修センター
 病院の特色 | 山口県東部の中核を担っている高度急性期病院です。3次救命救急医療、地域がん診療連携拠点病院として、がんゲノム医療等の最新のがん治療、地域周産期母子医療センター、地域災害拠点病院として、幅広い医療を提供しています。また、患者さんが退院後も安心して療養生活を送ることができるよう地域の医療機関とも密に連携を行っています。

山口県 柳井医療センター



住所 | 〒742-1352 山口県柳井市伊保庄95
 電話番号 | 0820-27-0211
 ホームページ | <https://yanai.hosp.go.jp/>
 アクセス | ○JR山陽本線「柳井駅」からバス(阿月行)にて「国立病院前」下車(約20分)
 ○山陽自動車道「玖珂IC」から25km
 病床数 | 総数280床(一般200床、重心80床)
 診療科 | 内科、脳神経内科、循環器科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、人工透析外科、リハビリテーション科、歯科
 機能類型 | 【専門外来】神経難病外来、頭痛外来、認知症外来、直腸・肛門ストーマ、腎不全外来、発達療育相談外来【入院】血液透析治療
 病院の特色 | 当院は、神経難病・重症心身障害児(者)の専門的医療施設として、山口県全域、広島県西部地区の中核病院として障害者医療を行っています。また、一般外科、肛門疾患、直腸、大腸癌の専門的治療、慢性腎不全患者の血液透析治療を実施しています。さらに腹部救急、脳卒中救急の受け入れ、認知症疾患医療センターとして取り組んでいます。

徳島県 東徳島医療センター



住所 | 〒779-0193 徳島県板野町大寺字大向北1-1
 電話番号 | 086-672-1171
 ホームページ | <https://higashitokushima.hosp.go.jp/>
 アクセス | ○JR高徳線「板野駅」から徒歩約10分
 ○JR高徳線「徳島駅」からバス(鍛冶屋原線)にて「東徳島医療センター前」下車
 病床数 | 総数276床(一般100床、結核20床、重心156床)
 診療科 | 内科、呼吸器科、循環器科、消化器科、小児科、放射線科、外科、呼吸器外科、整形外科、泌尿器科、リハビリテーション科、麻酔科
 機能類型 | 一般医療及び「呼吸器疾患(結核の拠点病院)、重症心身障害」の専門医療施設となっており、循環器疾患・慢性腎不全・消化器疾患・がん等についても、検査・診断・治療と一貫した機能強化を図っています。
 病院の特色 | 呼吸器疾患及び重症心身障害の専門医療施設、徳島県の結核拠点病院としての役割を担っています。地域包括ケア病棟は、他施設からの患者も受け入れ、急性期病棟や多職種連携し、在宅復帰・退院支援に取り組んでいます。病院のキャッチコピー「やさしい笑顔とよりそう医療」のもと、地域の方々に愛され信頼される病院を目指しています。

徳島県 徳島病院



住所 | 〒776-8585 徳島県吉野川市鴨島町敷地1354
 電話番号 | 0883-24-2161
 ホームページ | <https://tokushima.hosp.go.jp/>
 アクセス | ○JR徳島線「鴨島駅」からタクシーで約7分
 ○徳島自動車道「土成IC」から車で約15分
 病床数 | 総数300床(一般180床、筋ジス120床)
 診療科 | 内科、脳神経内科、呼吸器科、消化器内科、小児科、外科、整形外科、リハビリテーション科、放射線科、眼科、歯科、麻酔科
 機能類型 | ●一般医療●四国神経筋センター●脳神経筋リハビリセンター●スポーツ医学センター●消化器病センター●臨床研究部
 病院の特色 | 神経・筋難病、筋ジストロフィーの専門的医療施設として徳島県における難病医療ネットワークの分野別拠点病院であり、国立病院機構において四国の基幹施設(四国神経筋センター)となっています。神経筋難病に関するセカンドオピニオン外来、遺伝子相談外来も開設しています。他にスポーツ整形、ロボットスーツを使ったリハビリも行っています。

香川県 高松医療センター



住所 | 〒761-0193 香川県高松市新田町乙8
 電話番号 | 087-841-2146
 ホームページ | <https://takamatsu.hosp.go.jp/>
 アクセス | ○JR予讃線「高松駅」からバス(大学附属病院行)にて「高松医療センター」下車
 ○高松自動車道「高松東IC」から車で約5分、「高松中央IC」から車で約10分
 病床数 | 総数240床(一般220床、結核20床)
 診療科 | 内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、歯科、麻酔科、泌尿器科、皮膚科
 機能類型 | ●神経・筋難病(ALS、パーキンソン病など)に関する専門医療●呼吸器疾患(結核を含む)に関する専門医療●骨・運動器に関する専門医療●心筋梗塞等虚血性心疾患に対する高度医療
 病院の特色 | 神経・筋難病および結核を含む呼吸器疾患に関する専門医療を担うとともに、一般診療として内科を中心とした治療・検査、整形外科の検査・リハビリに対応しています。その特色を生かしつつ、様々なニーズへの対応と、小回りの利く(コンパクト・アンド・フレキシブル)医療・福祉を展開しながら、心豊かな病院を目指しています。

香川県 四国こどもとおとなの医療センター



住所 〒765-8507 香川県善通寺市仙遊町2-1-1
電話番号 0877-62-1000
ホームページ <https://shikoku-mc.hosp.go.jp/>
アクセス ○JR土讃線「善通寺駅」から徒歩約20分
 ○高松自動車道「善通寺IC」から車で約5分
病床数 総数689床(一般452床、重症215床、精神22床)
診療科 小児科、小児呼吸器内科、小児循環器内科、小児神経内科、新生児内科、小児アレルギー科、小児血液・腫瘍内科、小児腎臓内科、小児内分泌・代謝内科、小児感染症内科、小児心療内科、児童精神科、婦人科(思春期)、産科、周産期内科、小児外科、小児心臓血管外科、小児脳神経外科、小児整形外科、小児形成外科、小児眼科、小児耳鼻いんこう科、小児歯科、内科、心療内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、リウマチ科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、乳腺外科、婦人科、不妊治療婦人科、リハビリテーション科、放射線科、救急科、救急科、臨床検査科、病理診断科
機能類型 産前産後411床(総合周産期母子医療センター(NICU、GCU、MICU)、小児病棟、児童思春期病棟、神経・重症心身障害児(者)センター(POST-NICU含む)、成人部門250床(一般病棟、循環器病センター、女性医療センター、骨・運動器センター)、中央診療部28床(ICU、CUU、SCU、PICU、ER型救命救急センター、小児救命救急センター)、外来部門(産科外来、成人外来、乳幼児健診センター、不妊治療センター、透析外来センター)
病院の特色 平成25年に2つの病院が統合し、誕生から看取りまで、こどもからおとなへと続いていくライフサイクルのすべてを対象に、寄り添う、地域の中核病院としてスタートしました。安心で高度な医療の提供とともに、癒やしに満ちた病院作りを心がけています。病院のアートは、患者さんとその家族を思うすべての職員の思いが込められています。

愛媛県 四国がんセンター



住所 〒791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲160
電話番号 089-999-1111
ホームページ <https://shikoku-cc.hosp.go.jp/hospital/>
アクセス ○JR予讃線「松山駅」より伊予鉄道横河原線「梅本駅」下車(約20分)後、徒歩約8分
 ○JR予讃線「松山駅」からバス(新居浜特急線)にて「四国がんセンター」下車(約30分)
病床数 総数368床(一般368床)
診療科 血液腫瘍内科、精神腫瘍科、感染症・腫瘍内科、呼吸器内科、消化器内科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、婦人科、耳鼻いんこう科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、緩和ケア内科、歯科、リハビリテーション科、病理診断科
機能類型 4つの柱で診療に取り組んでいます。①診療科の垣根を取り払い、各臓器がん専門家グループで高度先進医療をおこなう②医薬品等の臨床試験の他、がん予防診断、治療方法を確保するための基礎的及び診療的研究を実施③がん診療従事者の研修推進④情報発信
病院の特色 四国がんセンターは、診療・研究・教育・情報発信を4本柱とするがん専門病院です。がんの早期発見から終末期までのがん診療全般に携わり、最先端の医療、がん患者の生活に寄り添う看護、支援体制があります。愛媛県がん診療連携拠点病院として、院内のみならず県内全体のがん医療の発展に取り組んでいます。

愛媛県 愛媛医療センター



住所 〒791-0281 愛媛県東温市横河原366
電話番号 089-964-2411
ホームページ <https://ehime.hosp.go.jp/>
アクセス ○JR予讃線「松山駅」より伊予鉄道横河原線「愛大医学部南口駅」下車後、徒歩3分
 ○松山自動車道「川内IC」から車で5分
病床数 総数430床(一般250床、結核20床、重症160床)
診療科 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、整形外科、放射線科、麻酔科・ペインクリニック科、外科(呼吸器・消化器)、糖尿病内科、小児科
機能類型 呼吸器疾患(ア.肺がんの診断、治療に関する高度専門的医療、イ.結核、ウ.慢性呼吸器疾患(気管支喘息、肺性心、じん肺、肺気腫、慢性気管支炎など)、エ.低肺機能患者に対する在宅酸素療法)、循環器疾患(ア.心疾患(先天性心疾患・虚血性心疾患・弁膜症など)、イ.高血圧)、脳卒中リハビリテーション・整形外科医療(脳卒中のみならず、リウマチを含めた整形外科的リハビリテーション)、慢性肝疾患・消化器疾患(特にC型肝炎による慢性肝疾患、肝硬変、肝細胞癌など)、重症心身障害児(者)、神経難病、救急医療(ICUを利用し、循環、呼吸不全を対象とした24時間受入体制及び平日救急医療体制)、専門外来(心臓リハ外来、ペースメーカー外来、糖尿病外来、スキンケア外来、ペインクリニック、じん肺外来、アスベスト外来、肺がん検診、禁煙外来、SAS外来、神経難病、在宅酸素療法相談)
病院の特色 「信頼される医療の提供と働きがいのある病院」を理念に、地域医療と政策医療の2本柱を使命としています。地域医療は、一般急性期病院としての機能とともに、松山圏域二次救急輪番に参加しています。呼吸器疾患の基幹医療施設として24時間の受け入れを行い、政策医療として重症心身障害・結核・神経難病の専門医療施設の役割を担っています。

高知県 高知病院



住所 〒780-8077 高知市朝倉西町1-2-25
電話番号 088-844-3111
ホームページ <https://kochi.hosp.go.jp/>
アクセス ○JR土讃線「朝倉駅」から徒歩10分
 ○高知市内(はりまや橋)からバス(学芸高校行、高岡・市野々・須崎・宇佐行)にて「国立病院前」下車(約25分)
 ○高知自動車道「伊野IC」から車で10分
病床数 総数424床(一般282床、結核22床、重症120床)
診療科 内科、精神科・神経内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科、麻酔科
機能類型 免疫異常、成育医療、腎疾患、癌、呼吸器疾患(結核を含む)、重症心身障害、骨・運動器疾患に関する専門的な医療を行っています。また、結核とエイズの拠点病院です。
病院の特色 「私達は心のごもった医療を行い、地域に信頼される病院になることを目指します」を病院の理念として、がん・呼吸器疾患・成育医療・骨・腎疾患・重症心身障害児(者)などの専門医療の実践と地域の医師並びに医療関係者の教育、研修に努め、地域社会に貢献しています。

中国四国グループについて



住所 〒739-0041 広島県東広島市西条町家513
 (国立病院機構東広島医療センター敷地内)
人事担当 TEL.082-493-6654 FAX.082-493-6616
医療担当 TEL.082-493-6639 FAX.082-493-6673
ホームページ <https://chushi.hosp.go.jp/>

中国四国グループ内各病院の使命が十分発揮できるよう、各病院と密な意志疎通を図る中で、支援組織としての役割を果たしています。

その他関連施設

《国立ハンセン病療養所》

長島愛生園

〒701-4592
 岡山県瀬戸内市邑久町虫明6539
 TEL.0869-25-0321
 FAX.0869-25-1762
 ■ホームページ/長島愛生園で検索

邑久光明園

〒701-4593
 岡山県瀬戸内市邑久町虫明6253
 TEL.0869-25-0011
 FAX.0869-25-1763
 ■ホームページ/邑久光明園で検索

大島青松園

〒761-0198
 香川県高松市庵治町6034-1
 TEL.087-871-3131
 FAX.087-871-4821
 ■ホームページ/大島青松園で検索

岡山市の東部約40kmの瀬戸内海の小島にあり、極めて風光明媚で温暖なところです。人間性あふれる、心のごもった看護を実践したい方に最適な施設です。

「私たちは入所者の尊厳を重んじ健康かつ安全で充実した療養生活を心をこめて支援します」を理念に、入所者の幸福とそこで働く職員の充実感とおして人権の尊重される社会の実現を目指します。

- 《国立高度専門医療研究センター 一覧》
- * (独) 国立がん研究センター・中央病院(東京都中央区)
 - * (独) 国立国際医療研究センター・病院(東京都新宿区)
 - * (独) 国立がん研究センター・東病院(千葉県柏市)
 - * (独) 国立国際医療研究センター・国府台病院(千葉県市川市)
 - * (独) 国立循環器病研究センター(大阪府吹田市)
 - * (独) 国立成育医療研究センター(東京都世田谷区)
 - * (独) 国立精神・神経医療研究センター(東京都小平市)
 - * (独) 国立長寿医療研究センター(愛知県大府市)



リクルート情報サイト

<https://chushi.hosp.go.jp/recruit/>



《資料のご請求・お問い合わせ先》

独立行政法人国立病院機構
中国四国グループ 人事担当人事係
〒739-0041 広島県東広島市西条町寺家513

Tel.082-493-6654